

2010年6月29日(火)

9:30 ~ 9:40

CRT 栃木放送

両毛支局にて収録

成績を短期間に一気に押し上げる方法とは
- 学校や学習塾の授業の復習をテキストを用いて徹底的に行うこと -

開倫塾

塾長 林 明夫

Q サッカーのワールドカップでの日本チーム選手の活躍は素晴らしいですね。

A (林明夫。以下省略)

(1)4年に一度のワールドカップという世界の舞台で大活躍できるのは、本人の才能と多くの人々の協力の下での練習の成果だと考えます。

(2)「練習は不可能を可能にする」ということばが私は大好きです。多くの人々の協力の下で「練習、練習、また、練習」した結果が、日本チームの一人ひとりの大活躍に繋がったのだと私は考えます。

(3)本当に素晴らしい活躍であると私は思います。

Q さて、成績を短期間に一気に押し上げるにはどうしたらよいでしょうか。教えてください。

A (1)成績を短期間で大幅に上げるのに一番大切なのは、学校や開倫塾などの学習塾で使っているテキスト、教科書とそこでの授業です。この2つを大事にして下さい。

(2)まずは授業を真剣に聴いて、今勉強していることはどのようなことなのか「うん、なるほど」とよくわかるまで「理解」して下さい。

(3)よくわからなかったら、腑(ふ)に落ちるまで学校や開倫塾などの学習塾の先生に質問して下さいね。授業に関係することなら、質問はいくらしてもよいのですよ。遠慮しないで質問して下さい。

(4)大切なことは、どんどんノートにメモをし続けること。先生のことばは一言一句ノートにメモをし続けることです。

Q 学校や学習塾で授業を受けるときに一番大切なことは何ですか。

A (1)できるだけ前の席に着席することです。できれば先生の姿がすべて見える一番前の座席に着席することが成績向上の秘訣です。

(2)大学入試の予備校や有名大学でよい成績を取る人の多くは、皆一番前の席に着席しています。自分と先生の間にも多くの人が着席していればいるほど先生の姿は見えにくいし、黒板の字も見えにくい、これを成績のよい人はよく知っているからです。

(3)座席が予め決まっていない場合に、一番前の席に着席するためにはどうしたらよいか考えてみましょう。そうです。皆よりも早く教室に到着することですね。学習塾・予備校などには授業が始まる直前ではなく 20 ~ 30 分前に到着して、一番前の一番よい席に着席。前の授業までの時間に前回までの復習をしたり、今日の授業の予習をしておくと、「スー」と授業に入れますよ。

Q その日のうちに復習することが大事だといわれますが、なぜですか。また、何をどのように復習すればよいのですか。

A (1)よい質問ですね。このような質問を私は待っていました。

(2)なぜその日のうちに復習した方がよいのかといえば、一度「うん、なるほど」と授業中に「理解」したことも時間がたてばたつほど、また、何日かたってしまうとその多くを忘れてしまうからです。

(3)授業のその日のうちか、その次の日ぐらいに十分復習をすると記憶の痕跡が脳に残り、忘れる量が随分減ってきます。

(4)何回も、何回も復習すればするほど、一度「理解」したことは忘れにくくなります。

(5)ではどのようにその日のうちに「復習」をしたらよいか、次に考えましょう。

まずは、授業中に勉強して教科書やノートを読み直してみてもよくわからない「ことば」があるようなら、ためらうことなく「辞書」を引いて「意味」を確かめ、その内容を「教科書」か「ノート」、または「ポストイット」にメモしておくことです。

*学校や学習塾・予備校で授業終了後に「復習」をすることをお勧めします。そのために、国語辞典と英和辞典の2つの辞書は必ず持ち歩くことです。

「教科書」や「ノート」に書いてあることの「意味」がわかったら、次に何をするか。「教科書」と「ノート」をゆっくり何回も声に出して読むこと。ゆっくり読みながら、そこに書いてあることのすべてをスミからスミまで覚えてしまうことです。これを「音読練習」といいます。「教科書」や「ノート」に書いてあることの意味が一度「うん、なるほど」と「理

解」できていればですが、「教科書」や「ノート」は覚えようと決意すれば、「音読練習」でいくらでも覚えられます。「ことば」の意味、定義(ていぎ)は正確に覚えて下さいね。

*何も見なくても口をついてスラスラ出てくるようになるまで、「音読練習」はして下さいね。

次にお勧めなのが「書き取り練習」です。大切な「語句」だけでなく、「ことばの意味」(定義)も楷書、つまり教科書の書体で正確に書けるまでにしましょう。「教科書」と授業中の「ノート」に書いてあることは正確に書けるようになるまで、何十回、何百回も「書き取り練習」を繰り返しましょう。

最後にすべきことが、「教科書」や「ノート」にある問題をもう何回かやり直すことです。これを計算・問題練習といいます。答えがよくわからなかったり、なぜそのような答えになるのか、自分で考えてもその理由がよくわからなかったら、先生に遠慮なく質問しましょうね。

*やり直すのは1回だけでは不足です。5～10回ぐらい同じ問題をやり直しましょう。その問題を見た瞬間に「パッ、パッ」と正解が出るまでにするのが、「計算・問題練習」の目標です。

授業が終わったら、学校や学習塾で「授業のまとめノート」をその日のうちに作ってから帰宅することも成績向上の上でとても役に立ちますよ。

がんばって下さいね。

- 2010年6月29日林明夫記 -